

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 11月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	2770105175		
法人名	社会福祉法人 野田福祉会		
事業所名	ハーモニーあかさか		
所在地	堺市南区赤坂台3丁目9番23番101・102号 (電話) 072-290-0027		
評価機関名	特定非営利活動法人カリア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成21年10月25日	評価確定日	平成21年11月19日

【情報提供票より】(年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年7月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	10 人	常勤 3 人, 非常勤 9人, 常勤換算 5.6 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5 階建ての		1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	45,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	400 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり		1,500 円

(4) 利用者の概要()

利用者人数	6 名	男性 1 名	女性 5 名
要介護1	1	要介護2	2
要介護3	3	要介護4	0
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 82 歳	最低 71 歳	最高 84 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ハーモニー診療所・辻本病院・喜多クリニック・石橋歯科
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「笑顔を絶やさないその場その場の楽しみ作り、事業所作り」を理念に、団地の2室をリフォームし、入居者6名の少人数で家庭的な雰囲気の中、入居者個々の生活を考えながら取り組まれています。職員の方々も、個々の入居者の性格や特徴を踏まえた対応をされ、日常生活の面で会話や笑顔が見られ、雰囲気の良いホーム作りをされていると感じました。地域での関わりでは、事業所も自治会役員を引き受けておられる等積極的に関わっておられます。また、同区のグループホームの連絡会を定期的開催し、サービス向上に向けて取り組んでおられました。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 意見箱の設置場所について飾りの様になっているとの事ですが、ご家族と直接の意見や苦情等を聞き、迅速に対応しておられました。また、職員間や運営推進会議で報告し、改善に向けて取り組まれておられました。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価、外部評価結果を職員間で話し合いが行われ、意義を理解し取り組まれておられました。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議を2カ月に1回開催。地域住民、行政、ご家族等が参加され、活動報告や意見、苦情の報告等が行われ、また、他のホームと共同で交流会や勉強会が企画され、サービス向上に取り組まれていました。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) ご家族の意見、苦情には迅速に対応。また、再発防止に向け、職員会議や、運営推進会議での検討をされていました。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域との関わりがあり、ホーム自体が自治会に加入。また、入居者は老人会に加入するなど、交流が盛んです。日頃より関わりがあり、散歩や買い物の際に声をかけていただく事や、ご近所さんから梅ジュースなどをいただくなど、日常的な交流がありました。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「笑顔を絶やさない、その場その場の楽しみ作り・事業所作りを理念に、もっと美味しい食べ物、もっと楽しい雰囲気を作れないか、個人ごとの楽しみを追求するなど、職員間で話し合い、実践されていました。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関に掲示、また、会議やミーティングでは、理念に立ち返り、話し合いが持たれていました。	○	自治会の集まり等で住民の方へも伝達し、理解をして頂きたいとお考えです。今後の取り組みを期待します。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所も自治会に参加。自治会役員もしておられ、地域に根ざしたホーム作りを考えておられました。また、入居者の方も、老人会に加入し、カラオケや俳句、定例会にも参加されていました。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価を理解し、改善点を検討されていました。また、運営推進会議で結果を報告するなどし、改善に取り組まれました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催。ご家族、地域代表、行政が参加して取り組まれていました。外部評価や事故・苦情等の報告を行い、サービス向上に向けて取り組まれていました。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	堺市南区のグループホームが参加しての会議が定期的に行われ、他事業所との繋がりがああります。相互に研修会や、入居者同士の交流も盛んに取り組まれ、サービス向上に尽力されてきました。その会では行政も参加されています。	○	ホームだけでは解決できない課題もあります。。行政と南区グループホーム会議が協力し、更なる向上に期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	手紙や写真の送付、電子メールを活用し、1ヶ月～2ヶ月に1度定期的に連絡を取り、健康面の報告を行っておられました。また、法人の広報誌も年2回発行し生活の様子を行っておられました。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見・苦情があれば、管理者に迅速に報告し、対応するシステムが構築されています。また、運営推進会議で報告し意見を取り入れておられました。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホーム職員の異動を少なくするなどの配慮がなされていました。また、認知症等についての法人の勉強会に参加するなどし、利用者への影響を考慮し取り組まれておられます。また、離職を減らす勉強会の開催などを開催し努力されていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人が企画する研修会に参加。また、段階的にスキルアップできる様研修をされていました。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に1回、堺市南区のグループホームが集まり、情報交換や地域への働きかけを考えておられました。相互のホームでの研修等も実施され、サービス向上に取り組まれました。		
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居や見学等、徐々に馴染める様工夫されていました。また、人間関係作りに意識し、馴染みの関係作りが出来る様入居者同士への配慮も行われていました。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	パーソンセンタードケアを念頭に、入居者それぞれが主役となり生活出来る様、コミュニケーションや関係作りが行われていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご家族とも積極的に話をし、一人ひとりの生活暦を把握し、希望や意向を尊重しながら取り組まれていました。この夏、ご家族や関係者と協議を重ね、ご本人の希望する九州方面へ墓参りに行かれた方がおられました。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日ごろの入居者の様子や、ご家族や関係者からの情報を整理し介護計画をたてておられました。また、職員間で会議の中で話し合いが行われ、入居者の生活向上に努めておられました。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に、ご家族や関係者の意見を聞きながら、見直しが行われていました。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>部屋の配置や座席の位置、入居者同士の関係を配慮するなど、認知症状による行動や心理を理解し、支援されていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	週1回主治医のの往診。また、接骨院によるマッサージや歯科往診があります。かかりつけ医は24時間連絡がとれる体制となりました。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	法人として終末期ケアの指針がありました。普段からご家族との関係作りを行い、終末期には、十分話し合いを持ち、出来る限りの対応をされていました。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員の言葉がけについての指導をするなどし、入居者の尊厳を大切にされていました。また、記録や書類は持ち出さない様指導し、プライバシーの確保に努めておられました。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	入居者のペースを大切にし、個々に買い物や散歩など希望を聞くなど、その方が中心に生活出来る様配慮されていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	夕食の献立を聴き、一緒に準備や片付けを行っている。また、食事中も、入居者の方、職員の方がお話をされ、楽しい雰囲気です。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2日に1回の入浴で、希望があれば毎日の入浴も可能です。夏場は暑い時間帯、冬場は寒くなる時間帯と、入居者の活動しやすい時間を配慮し、入浴されています。入浴だけでなく1日の生活を考慮して取り組まれています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味や能力を活かした生活を考え、ケアプランに反映されていました。また、居室は、馴染みのダンスや趣味の道具を持ち込まれ、生活歴に考慮しながら取り組んでおられました。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩や、買い物へ行くなど希望を聞きながら、気分転換を図れるよう配慮をされていました。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	大阪府からの危機管理体制についての通知に基づき、侵入者予防の為、鍵をかけておりましたが、インターホンの活用等工夫されました。ホーム内は、洗剤等の置く位置など工夫し、鍵をかけない取り組みをされていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年に2回避難訓練を実施。災害マニュアルを配布。また、目の届く場所に完備し、日常より防災意識を高めておられました。また、非常食等の備蓄をされていました。	○	消防署の協力を求め、避難訓練などの指導をしてもらうなどの関わりを持ち、更なる入居者が安心して頂ける様期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	一人ひとりの食事、水分量をチェックし、主治医が往診時に確認しておられました。また、ご近所から頂いた手作り梅ジュースを提供されるなど、楽しみながら水分摂取の支援が行われていました。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	リビングや居室などの生活空間と廊下などの移動空間の使い分けをし、廊下の掲示スペースに、行事の写真や展示物を置かれ、整理されていました。また、バルコニーがあり、優しい光が入り、上手く空間を使っておられました。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	使い慣れたタンスや趣味の道具などを持ち込まれ、入居者が安心して過ごせる雰囲気を意識され取り組まれておられました。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。